

令和4年度 京都市立四条中学校 学校教育目標・経営方針

□学校教育目標

自ら考え、行動できる生徒の育成

■具体的目標

- ・夢を抱き、将来への展望を持って学習に取り組み、自分の考えを表現できる生徒を育てる。
- ・豊かな心を持ち、お互いの気持ちを思いやり、自分で正しい判断ができる生徒を育てる。
- ・たくましく、くじけない体力と気力を持ち、自分の未来に直面できる生徒を育てる。

□学校経営方針

- 豊かな心と確かな学力を育み、自分の未来を生き抜く生徒の育成を図る。
- 社会の変化に対応し、多様性を認め、協働できる学校づくりを進める。
- 保護者・地域と連携・協力し、生徒が学ぶ楽しさや成就感を味わうことができる教育活動を実践する。

◇目指す生徒像

- ・自分の考えを持って他者と対話し、お互いの考えを比較、吟味することで自分の考えを深められる生徒
- ・自分の身の回りや社会の中に課題を見つけて、情報を的確に処理し、自ら課題を解決できる生徒
- ・自然や文化に関心を持ち、健やかな体と心の調和が保たれ、想像力に富み、協調性のある生徒

◇目指す教職員像

- ・優しさと厳しさを兼ね備えた力量のある教職員
- ・同じ方向を向いた教育活動を実践する教職員
- ・生徒の言動や行動の背景に目を向け、生徒と心の通った教職員
- ・世の中の動向に敏感であり、その変化に柔軟に対応できる感覚を持った教職員

◇目指す学校像

- ・日々の教育活動を通じて、生徒一人一人の規範意識が身に付く学校
- ・落ち着いた教育環境の下、生徒が主体的に学び、学力が向上する学校
- ・学校行事や生徒会活動、部活動などが活性化し、生徒一人一人が成就感を味わえる学校
- ・保護者との連携や地域との交流を深め、安心して教育を委ねられる学校

□重点目標

○研究・学習指導

「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けての実践

■具体的な取組

- ・新学習指導要領に向けて授業改善を行い、一人年1回の研究授業を実施する。
- ・充実した教科会及び教科主任会を通じて、有意義なOJTによる同僚性の構築を図る。
- ・テスト問題の改善と指導および評価の一体化を図る。
- ・授業の振り返りを家庭学習と位置づけ、自学自習の推奨を進める。
- ・道徳教育の充実を進め、指導と評価の検証を行う。
- ・多様な価値観を認め、互いに尊重し合える心を育む人権教育を実施する。
- ・GIGAスクール構想に基づき、オンライン学習を含む生徒への学習支援に向けたICTの活用を進める。

○生徒指導・支援

生徒が自ら考え、行動できる自己指導力の育成

■具体的な取組

- ・生徒会が主体的に企画運営する取り組みを充実させる。（四条の日やいい言葉の日）
- ・ICTを活用しての学習やケータイ教室を通して情報モラル学習を進める。
- ・心や体を大切にする感性を育む健康教育（薬物乱用、非行防止教育や性教育）を実施する。
- ・災害遭遇時に、自ら考え判断して適切な行動ができる力を育む安全教育を進める。
- ・SSWを有効活用したケースカンファレンスの実施と関係機関との有機的な連携を図る。
- ・母子生活支援施設との定期的なコンサルテーションを行う。
- ・合理的配慮に基づく支援策のスキルを上げる教職員研修の充実を図る。
- ・感染症対策などの社会の行動変容に対応し、正しい知見をもとに判断できる力を育む。
- ・不登校生徒や要支援生徒に対して、学校体制としての取り組みを進める。

○小中一貫教育

「夢をもち、共にまなび、たくましく社会を生き抜く子の育成」
～聴く力をつけ、互いに認め合い、自分で考え、本当の力につける～

◇目指す子ども像

- ・人とともに社会を生きる力を持つ子
- ・課題を見つけ、解決する子
- ・自分を知り、自立する子
- ・夢や希望をつくりあげる子

■具体的な取組

- ・ジョイント、学習確認プログラム等の分析を進め、基礎基本の学力の定着を図る。
- ・LD等の要支援生徒について、細やかな連携による9年間のスムーズな教育実践を目指す。
- ・母子生活支援施設に入所している子どもへの理解を通して、小中学校のすべての子どもの背景に目を向けた教育活動を実践する。
- ・小中合同研修会で各校の取組について情報交換を行い、理解を深めるとともに、共通の課題について認識し、課題解決に向けての取り組みを考察する。